

I. 総 括



緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練
平成22年10月8日～9日(薩摩川内市開催)

1. 薩摩川内市消防局管内の位置と地勢

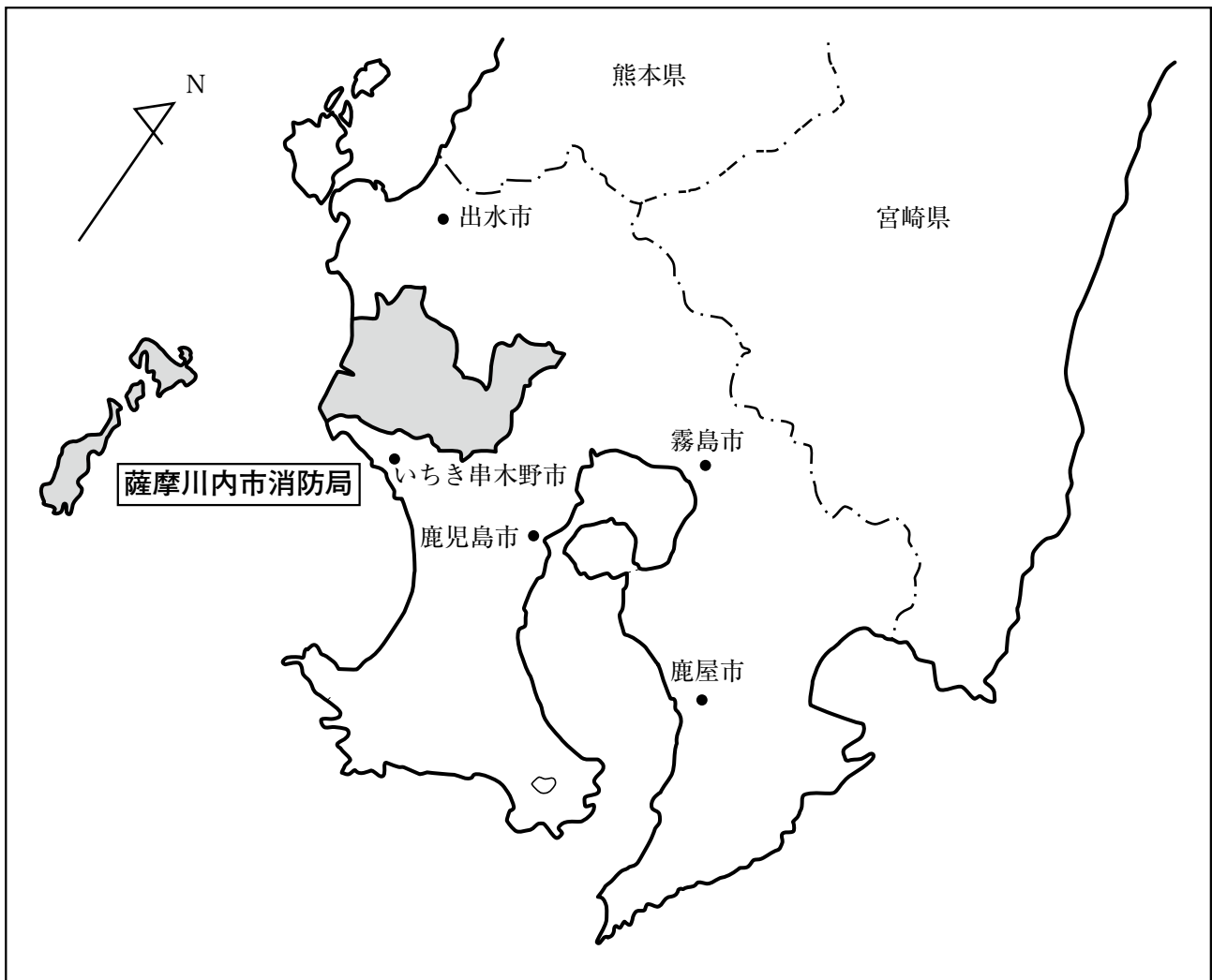
薩摩川内市は、薩摩半島の北西部に位置し、南は県都鹿児島市といちき串木野市、北は阿久根市に隣接する本土区域と、上甑島、中甑島、下甑島で構成される甑島区域で構成されています。

東シナ海に面した変化に富む白砂青松の海岸線、市街部を悠々と流れる一級河川「川内川」、蘭牟田池をはじめとするみどり豊かな山々や湖、地形の変化の美しい甑島、各地の温泉など、多種多様な自然環境を有しています。

本市が有するこれらの多彩で美しい自然環境は、川内川流域県立自然公園、蘭牟田池県立自然公園、甑島県立自然公園に指定され、人々に親しまれています。

この広域に及ぶ当局管内面積は県内では最大の683.50km²である。

消防本部の位置 東経 130° 18′
北緯 31° 49′



2. 消防本部・署の沿革

年	月	概	要
平成16年	10月12日	薩摩川内市が誕生し、薩摩川内市消防局発足	
	10月12日	伊豫田輝雄初代消防局長に就任	
	10月12日	東部消防署祁答院分署運用開始	
	11月17日	救急救命士17人となる	
平成17年	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から携帯用無線機15式、空気呼吸器1式、空気呼吸器用ボンベ10本の貸与を受ける	
	5月9日	救急救命士18人となる	
	6月9日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加（静岡県静岡市清水区）～12日	
	10月1日	西部消防署高規格救急車等による高度救急業務を開始	
	11月4日	東部消防署祁答院分署新庁舎落成式挙行（薩摩川内市祁答院町下手43番地1号）	
	11月21日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（沖縄県うるま市）～24日	
	11月24日	救急救命士19人となる	
平成18年	1月15日	伊豫田消防局長退任	
	1月16日	桑原道男第2代消防局長に就任	
	2月21日	アステラス製薬株式会社より救急自動車（2B）の寄贈を受ける	
	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器6式、空気呼吸器用ボンベ10本、空気呼吸器用面体40基の貸与を受ける	
	5月22日	救急救命士21人となる	
	6月1日	「住宅用火災報知器」の設置が義務づけられる	
	7月22日	鹿児島県北部豪雨災害（消防職員・消防団員 延1,252名出場）～23日	
	10月20日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（北九州市）～21日	
	12月7日	総務省消防庁主催「第9回全国消防広報コンクール」広報紙部門優秀賞受賞	
平成19年	1月23日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練	
	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器6式、空気呼吸器面体40個、空気呼吸器用ボンベ10本、液晶プロジェクター1台、防護マスクフィルター532個の貸与を受ける	
	5月14日	救急救命士24人となる	
	5月16日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練	
	10月12日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（大分県中津市）～13日	
平成20年	1月14日	桑原消防局長退任	
	1月15日	上村健一第3代消防局長に就任	
	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器用ボンベ10本、空気呼吸器面体10個、エアー担架32基、放射性廃棄物用ドラム缶1個、サーバイメーター用アルミ収納ケース4個、防護マスクフィルター794個、ポケット線量計3個の貸与を受ける	
	4月28日	救急救命士26人となる	
	9月12日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練	
	11月21日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（長崎県佐世保市）～22日	
平成21年	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器6式、空気呼吸器面体30個、空気呼吸器用ボンベ10本、エアー担架5基、防護マスク195個、防護マスクフィルター1000個、防護服（アノラック型、タイベック型）50着、液晶プロジェクター1台、DVDプレーヤー5台、液晶プロジェクターケース1個、ポケット線量計20個、携帯無線機用スピーカーマイク15個の貸与を受ける	

年	月	概	要
平成21年	4月14日	救急救命士28人となる	
	8月26日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練	
	10月9日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（佐賀県佐賀市）～10日	
	11月16日	東部消防署高規格救急車を更新	
平成22年	2月15日	中央消防署下甕分駐所新庁舎運用開始	
	3月31日	中央消防署南部分署大型高所放水車を更新	
	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器2式、空気呼吸器面体30個、空気呼吸器用ボンベ10本、デジタルカメラ1台、防護マスクフィルター100個の貸与を受ける	
	4月28日	救急救命士29人となる	
	6月4日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加（愛知県知多市）～5日	
	8月30日	大型化学消防車を更新	
	10月8日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練を実施（鹿児島県薩摩川内市・サテライト会場さつま町）～9日	
	11月10日	支援車I型を総務省消防庁から緊急消防援助隊登録車両として無償貸与を受ける	
	11月29日	東部消防署水槽付ポンプ車を更新	
平成23年	2月24日	泡原液搬送車を更新	
	3月14日	平成23年3月11日14時46分に発生した東日本大震災「東北地方太平洋沖地震」における災害対応に、緊急消防援助隊鹿児島県隊として総務省消防庁から派遣要請を受け、延べ20名出場（派遣先：宮城県石巻市）	
	3月23日		
	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器2式、空気呼吸器用ボンベ10本、空気呼吸器面体30個、デジタルビデオカメラ1台、ノートパソコン1台、化学防護服2式、防護マスクフィルター600個、防護服（アノラック型）200着、防護服（タイベック型）200着、チオックス手袋40ダース・綿手40ダース、防護靴80足、オーバーシューズ200足の貸与を受ける。	